

「手遊びや布遊びと布芝居2本を組み合わせる上演します(50分)」

昔話 「へたれよめご」



「とても大きなおならをしちゃう  
およめさんのおはなし。  
布芝居と手ぬぐいを使ってお話しします」

昔話 「ねずみきょう」



「ねずみきょうの「きょう」は  
お経のことです。  
パネルシアターならぬ羽織シアター！」

ブラジル民話

「かめのこうらはひびだらけ」



「かめのこうらに今模様か  
付いているのはなぜ？  
波の音がする楽器も登場します」

オリジナル

「あめのひかくれんぼ」



「主人公と一緒にかくれんぼ、  
いつのまにか空へお散歩に！  
大きな布(雲)にみんなで入ります」

子どもの頃紙芝居屋がやってきた…という記憶はない私ですが  
「紙芝居」と聞くとなぜかワクワクする！おいしいちゃんもおばあちゃんも  
子どもも大人も近所の人もその場に居合わせた人達が一緒に楽しめるのが紙芝居の魅力だと思います。地域の中にそんなワクワクする空間を出前する現代の紙芝居屋になりたくて「なにぬの屋」をはじめました。

なにぬの屋 渋谷やこプロフィール

社会福祉学科を卒業後、2年間世田谷区のプレーパークのプレーリーダーを務める。  
その後、劇団風の子附属国際児童演劇研究所にて演劇を学び、全国を巡演。退団後、  
ひとり芝居に定評のある中西和久氏(京楽座)に師事。現在も舞台出演を重ねる。  
子どもたちとゼロからオリジナルストーリーを創る「劇団そら」で演劇指導。

info@naninunoya.net

090-3533-8509 03-5539-4647(e-fax)

T963-8061

福島県郡山市富久山町福原字三斗蒔田30-8-105

東京連絡所 〒173-0004

東京都板橋区板橋1-47-11-604プカプカ音楽教室気付

<http://www.naninunoya.net/blog/>



布でつくった

紙芝居

なにぬの屋



がやってくる！

出演・構成

渋谷 やこ